

事業所全体による自己評価

湧気自然塾（児童発達・放課後等デイサービス）

公表日 2026 (R.8) 3.23

職員評価集計結果

回答率 100%

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点(3/9 職員全員で打ち合わせ)
1	・利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切か	100%	0%	・プレールーム・和室・2階の3室が使用可能で機能している。 ・人数や子どもの様子に合わせて活動場所や活動内容を分けることで、おちついて過ごせる環境づくりを行っている。 ・工夫により、(昨年度：やや狭く感じることもある)は改善。	★安全管理が可能な限り、今後も、和室・プレールーム・2階の利用もしていきましょう。
2	・職員の配置数は適切か	100	0	・利用者数に合った職員数が確保されている。	★保育士や児童指導員となれる資格にも挑戦していこう。
3	・業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に職員が参画しているか	100	0	・参画している。	★今後も積極的に参画していこう。
4	・第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	91	9	・正式な第三者評価ではないが、外部の第三者による評価を受けて、業務改善に繋いでいる。	★評価を真摯に受け止め、さらなる改善に繋いでいこう。
5	・職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	・研修はとても勉強になっている。 ・機会の確保に努めている。他の方が個別学習の時、どのように工夫されたり、支援されたりしているか知り、自分が行う支援に生かしたい。 ・外部研修は、具体的教材を元に本塾の子ども達と照らし合わせながら学ぶ機会となっている。	★自ら研修を真摯に取り組み、支援の参考をなるよう努めていこう。 ★外部研修にもできるだけ参加して、具体的な支援内容や作業方法を学び、還元しよう。
6	・アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画等を作成実施しているか	100	0	・保護者からのニーズや課題について、職員で意見交換や共通理解を行う機会を設け、計画に活かしている。	★子ども一人一人を知ろうとする考えをしっかりと持とう。 ★さらに丁寧にアセスメントを行い、共通理解のために視覚的な工夫を行い、適切な計画を立ててチームで実施しよう。
7	・活動プログラムの立案や改善をチームで行っているか	100	0	・なるべく複数でモニタリングや支援会議等に参加して、計画や改善に生かす工夫をしている。	★それぞれの子どもに合った課題を共有するために、個別プログラムの充実をさらに進めよう。
8	・平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、活動プログラムの立案が固定化しないよう工夫して、細やかな支援をしているか	100	0	・外部との連携協力体勢がしっかりできていて、内容も充実している。 ・人数や子ども同士の相性等、できるだけ一人ひとりに必要な支援ができるよう、できる限りの支援に努めている。 ・いろいろな工夫と話し合いをして、季節に応じた活動を組み立てる。	★個別プログラムをもとに支援するが、子ども達の様子により、適切な内容になっていなければその場で変更しよう。(即時プログラム有)
9	・子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた支援をしているか	100	0	・観察を共有し、子どもの状況に応じた支援に努めている。	★子どもの状況をしっかりと観察して、支援を行う。
10	・支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援内容等を確認しているか	100	0	・毎日事前に打ち合わせを行い、支援内容等を確認している。 ・本年度も、ノートなどを活用し、様子もわかり易く申し送りができている。 ・互いの声かけもこまめにしている。	★個別プログラムや職員ノート等をしっかりと見たり、前回の支援を聞いたりして努めていく姿勢を互いに見せ合っていこう。 ★当日支援する子どもの個別プログラムを必ず確認しよう。わからない時は尋ねましょう。 ★外部情報・個人情報等も、必要な場合は、管理者を通して確認可能。 ★支援方法についてのアドバイスは誰もが望んでいる。わかりやすい話し方や把握しやすい配慮を心がけながら、確認し合おう。
11	・支援終了後に職員間で必ず支援を振り返り、気づき等を共有しているか	91	9	・週末の打ち合わせや月曜日の研修を中心に、振り返りをして共有している。緊急な場合は、支援直後に報告相談対応をしている。 ・上手くいかなかったことを相談し、アドバイスをもらっている。	★スケジュール的に、支援直後の共有はできにくいのが現状だが、翌日には行おう。職員ノートを活用し、翌日や週末の打ち合わせの話題にもしよう。 ★スタッフ同士が信頼関係を築きながら話し合っていこう。
12	・日々の支援の記録をとることを徹底し、支援の検証改善に繋げているか	100	0	・各支援内容に応じた記録や全体の記録を記述し改善に繋いでいる。 例)・他との距離感・握手等の仕方→全員での練習へ ・反省に基づき、ポイントを絞った観察の仕方・記録のとり方も取り入れている。	★観察から分かった事を早く支援に繋いでいこう。 ★今後も、より有効な支援に繋がる改善方法を探していこう。
13	定期的モニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断しているか	100	0	・定期的なモニタリングから計画の見直しをしている。	★保護者への連絡、日時調整を早めに行っていこう。
14	・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に参画しているか	100	0	・各支援会議に参画している。	★できるだけ複数で出席し、会議の内容は早期に還元しよう。
15	・必要に応じ、園や学校、相談支援事業所との間で情報共有し相互理解に努めているか	100	0	・各機関との情報共有に努めている。	★支援会議を行っていない校園に働きかけていこう。
16	・地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	100	0	・参加している。	★今後も積極的に参画していこう。(なるべく複数で)
17	・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	100	0	・定期的なモニタリングや懇談に加え、日常な相談もしている。	★毎日、送迎時に様子を保護者と伝え合えるよう配慮しよう。 ・送迎担当者との連携(伝言する担当を決める。良く頑張った事を中心に。)
18	・保護者に運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行い、子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100	0	・契約時、モニタリング時を中心に説明を行い、相談には丁寧に応じながら、助言していくよう努めている。	★適切な助言や支援となるよう、さらに努めよう。
19	・業務継続計画を策定するとともに、非常災害の発生に備え、避難訓練を行っているか	100	0	・業務継続計画を策定し、災害に備え、避難訓練を行っている。	★各避難訓練において、全体的な訓練だけでなく、ポイントを絞った訓練を行ったり、各児の訓練の機会を確保する等、改善していこう。
20	・虐待防止の研修や、安全計画を作成して、安全管理に必要な研修や訓練、ヒアリハットの共有と再発防止に向けた方策の検討を行っているか	100	0	・虐待防止等の研修を行っている。	★虐待防止や安全管理に必要な研修や訓練をさらに充実させよう。